

山田大使の新年のご挨拶：日本人移住110周年の始まりに当たり

新年あけましておめでとうございます。

私は昨年8月に着任し駐ブラジル大使として初めてのお正月を迎えました。
本年もどうぞ宜しくお願い致します。

新しい年2018年は、日本人のブラジル移住が始まって110年を迎える、日本とブラジルにとって記念すべき年です。

今日、両国が緊密な友好協力関係にあるのも、日本人移住者・日系人の方々の長年にわたりブラジルにおいて信頼を築いてきたことがあってこそです。私は移住110周年が幕開けするこの機会に、これまでの移住者、日系人の方々の努力に対して改めて敬意を表します。同時に、この記念すべき年を皆様と共に祝い、両国関係にとって更なる飛躍の年としたいと思っています。

昨年を振り返ると、この国では「新しいブラジル」に向けた様々な改革への取り組みが進むと共に、経済面では少しずつ明るい兆しが見えてきました。そうした中、日本とブラジルとの間では多くの分野で協力・交流が進展しました。昨年4月にサンパウロで世界に先駆けてジャパンハウスが開館し、新しい日本の姿を発信し、非常に多くの人々を惹きつけ魅了しています。政治面では政府・議会のハイレベルでの相互訪問・交流が進みました。また、経済面では「第一回インフラ協力会合」の開催を初めとして、官民一体となった経済関係促進のための取り組みが続けられました。更に2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、「リオから東京へ」の流れの中、柔道などスポーツ分野での交流も活発に行われました。

2018年も、私は日ブラジル関係の今後を見据えて、「戦略的グローバルパートナーシップ」に基づく幅広い分野での協力・交流を一層推進して行きたいと思っています。

その中で、今年は「日本人のブラジル移住110年」に際してブラジル全国で多くの祝賀行事が行われます。私自身、出来るだけこれらに参加したいと思っています。日系社会、在留邦人の皆様と一緒に（JUNTOS !!）この記念すべき年を盛り上げて行きましょう。

2018年が皆様にとって佳い年となることを心から祈念致します。

平成30年元旦

ブラジル駐劬日本国特命全権大使

山田 彰